



7/11 NO!未成年者の喫煙

北本高校の生徒、埼玉中央たばこ商業協同組合、JT北関東支社、鴻巣警察署の皆さんと市が協力して、北本駅前で「未成年者の喫煙防止を呼びかけるキャンペーン」を行いました。

参加した皆さんは、暑さに負けず積極的に啓発物品を手渡しながら、市民一人ひとりに呼びかけました。



8/1 小学生が本格そば打ちに挑戦！

市内の小学生とその保護者がそば処「さんた亭」で北本産そば粉を100%使用したそば打ちに挑戦しました。さんた亭の鈴木店長が、わかりやすくそばの打ち方を子どもたちに伝授しました。参加した子どもたちは、自分で打ったそばを食べながら、「難しかったけど楽しかった」、「家でも作ってみたい」と笑顔で話しました。



8/7 宮内中学校の生徒が全国大会での健闘を誓う！

宮内中学校の生徒2人が、部活動において全国大会出場を決める成績を収めたことを市長に報告するため表敬訪問し、市長は2人に激励の言葉を送りました。

陸上競技部の八柳さん(100m走)は、「一日一日を大切に、全国大会にピークをもっていきます」、水泳部の尾藤さん(100m自由形)は、「これまで以上に頑張り、メダルを獲ります」と市長に意気込みを語りました。

北本市消防団、「埼玉県消防操法大会」に22年ぶりに出場！

突撃！  
市民リポーター

8月4日、「埼玉県消防操法大会」が鴻巣市にある埼玉県防災学校で開催され、北本市からは2チームが22年ぶりに出場しました。真夏の暑い中、会場は各地域から集まった消防団の皆さんの熱気であふれていました。

消防操法大会は、ポンプ車で防火水槽から水をくみ上げ、約20メートルあるホースを3本繋ぎあわせ、火点と呼ばれる標的へ放水するまでのタイムと一連の動作の正確性を競い合います。

目標の方向へ速く走る動作、ホースを転がし放水の準備をする動作、放水する時の姿勢等、一つ一つを正確に行うことでタイムも変わってくるそうです。隊員同士の動作一つ一つが綺麗にシンクロしているようで、美しい所作のようにも感じました。

結果は、見事に北本市の第3分団が優秀賞を受賞しました！

団員の皆さんは、お仕事がある中、主に夜間や休日を使い、4月から週に4回～5回も訓練を行って頑張ってきたそうです。それだけに、本番は緊張と迫力が伝わってきました。

今回、初めて「消防操法」を知り、団員の皆さんのやさしさにも触れ、消防団活動や訓練の大切さを学ぶことができました。地域を守る人たちの団結力は素晴らしいと感じた大会でした。



ホースをかついで速く走る



ホースを転がしてつなげる



標的へ放水



リポーター  
佐藤 正子さん

詳しくは市ホームページへ

市民リポーター

検索

